

## 平和は当たり前ではない

糸魚川中学校 2年 荻野 凌

今回の広島派遣研修は、私にとって一生忘れられない、3日間になりました。戦争の悲惨さや平和の大切さを、実際に広島で体験を通して深く学ぶことができました。

1日目、私たちは朝早く駅を出発し、広島に到着しました。最初に平和記念公園で千羽鶴を献納しました。自分たちの手で折った鶴を並べながら、「平和への願いが届きますように」と強く祈りました。その後、被爆者の方のお話を聞きました。大切な家族や友達を一瞬で失った苦しみや、今でも続く後遺症のつらさなどを聞き、私はどれほど多くの人の人生を壊したのかを強く感じました。

2日目は、まず平和記念式典に参加しました。会場はとても静かで、犠牲になった方々への祈りと平和への願いに包まれていました。鐘の音が響いたとき、胸が締め付けられるような気持ちになりました。その後、海上自衛隊呉史料館を見学しました。実物の潜水艦を見て、戦争のためにどれだけの技術や人々の努力があったのかを知りました。さらに、大和ミュージアムサテライトでは、戦艦大和の模型や資料を見て、戦争との関わりを学びました。夜にはとうろう流しを行いました。私は川に浮かぶとうろうを見ながら、「誰もが笑える世界になって欲しい」という思いをとうろうに込めました。とても静かで、心が平和への祈りで満たされました。

3日目では平和記念資料館を見学しました。そこには原爆の恐ろしさを伝え

---

る写真や遺品が展示されていました。特に黒く焦げ、変形したお弁当や着物の切れ端を見たとき、普通に暮らしていた人々の生活が一瞬で奪われたことを強く感じ、胸が痛みました。多くの資料をみて、私は「戦争は二度と繰り返してはいけない」と心から思いました。その後、広島を出発し、無事に到着しました。到着した後も頭の中には広島で見た光景や聞いた言葉が残っていました。

三日間を通して、私は「平和は当たり前ではない」ということを学びました。そして、この体験を自分の中で終わらせるのではなく、家族や友達に伝えていきたいと思います。二度と同じ悲劇を繰り返させないために、私にできることを考え続けたいです。

---